

公開講座

講座Ⅰ 「学校では教えてくれない〇〇の世界」

No.	講師	講座名	日時	場所
1	大森 智彦 大森 由紀 (株式会社 オレンジハーモニー)	石見に1ターンして実現した夫婦の夢～本気の思いと人との繋がりが生んだ事業のお話～ 知人からの工場の紹介がきっかけで、2013年6月に益田市に1ターンし、夫婦で起業しました。商品企画に時間がかかり、生計のため、塾の講師(智彦)、とヨガのインストラクター(由紀)の副業を始めました。その副業をマルチワークの例として、メディアで紹介いただき、知名度が上がり、今日に至ります。人との出会いから学び、新しい領域にチャレンジし、今では「女性が美しく健康に生きること」をテーマに事業に取り組んでいます。島根県に私達が感じている魅力と、これまでの歩みをお伝えします。	5月10日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
2	中根 光敏 (広島修道大学 教授)	魅惑のコーヒー文化 今、サードウェーブ・コーヒーブームと呼ばれる現象が、世界を席卷する流行となっており、新しい消費スタイル／珈琲の楽しみ方を形成しつつある。ベルリン、ライブツヒ、ソウル、台北・高雄、ジャカルタ、メダンなどのカフェから、そしてインドネシア・スマトラ島のコーヒー産地から、コーヒーが発する魅惑的な文化を考える。	5月24日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
3	和田 裕子 (株式会社 necco 代表取締役)	「石見の経営革新者シリーズ」 島根県大田市にある国立公園三瓶山。その麓で「ゆるく 楽しく!」をモットーに農作業を楽しんでいた三瓶女子会のメンバーがなんと株式会社を設立しました。土(地域)の力と風(よそ者)の力を繋ぐことで「100年先も子どもたちの笑い声が響き渡っている三瓶山」をめざし、コミュニティビジネスの拠点「山の駅さんべ」からワクワクを発信し続ける私たちの挑戦の様子をお話いたします。	6月7日水 18:15～19:45	講堂
4	陳 幼竹 (島根県立大学 北東アジア地域研究センター 非常勤研究員)	浜田市の侵入種(植物)とその影響 侵入種(植物)の概念を紹介し、人間社会への可能な影響について語ります。その上で、浜田市内によく見られる侵入種としてのオオキンケイギク、セイタカアワダチソウ、カントウタンポポ、コセンダングサなどについて詳しく考察し、その対策も検討します。	6月21日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」

講座Ⅱ 「浜田キャンパス国際ターミナル～優先搭乗のご案内～」

No.	講師	講座名	日時	場所
5	ナタリア・ボルホドエワ (島根県国際交流員)	遠くで近い国、ロシア ロシアの気候、食べ物、民芸などの紹介を始め、少数民族の特徴や伝統などについてお話します。そして画像を見ながらシベリア鉄道に乗っているイメージで日本にとても近いウラジオストク市から文化の首都サンクト・ペテルブルグ市まで最も美しい場所を通りながら旅をしましょう。また私の見た日本と比べたロシアについての印象や思いをお伝えして、両国の異なっているところと共通点について話します。	5月24日水 13:15～14:45	講義・研究棟「中講義室3」
6	ニュン グェン ティーゴク (浜田市国際交流員)	ベトナムの魅力 ホーチミン市出身の国際交流員ニュングェンが、現在注目されている「ベトナム」について語ります。普段は聞くことができない国柄や様々な事情をご紹介します。「ベトナムへ旅行に行きたい、ベトナムの魅力を知りたい、ベトナム人と友だちになりたい」という方のために役に立つ情報をお伝えします。	6月21日水 10:20～11:50	講義・研究棟「中講義室3」
7	于 清 (浜田市国際交流員)	中国を旅する 中国は秦嶺・淮河線(しんれい・わいがせん)で南北が分かれています。年間降水量1000mmの等量線が、秦嶺山脈と淮河を結ぶ線と一致することから名付けられており、この線を境に気候、農産物、食文化や生活習慣が大きく異なります。北は水が少なく、小麦などが主食ですが、南では日本と同じく水稲が欠かせない存在です。南は河が多く、昔は交通手段が船中心だったことに対し、北は馬が中心です。「北麦南稲、南船北馬」といわれる所以です。講座では北と南を比較しながら、それぞれの地域の独特な景色、習慣や文化を紹介いたします。	7月19日水 10:20～11:50	講義・研究棟「中講義室3」
8	パメラ・スリヤチャイ (浜田市国際交流員)	アメリカを旅する 浜田市の国際交流員パメラ・スリヤチャイが普段は聞くことのできない母国アメリカの魅力について話をします。アメリカを旅行したい方に、「ここはオススメ!」の観光スポットや、旅行のポイント、アメリカの文化等について紹介します。	12月13日水 10:20～11:50	講義・研究棟「中講義室3」

講座Ⅲ 「聴いて得する! 大学教員の“ちょっとココだけ”の話」

No.	講師	講座名	日時	場所
9	福原 裕二	朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の現在 「北朝鮮を訪れました」と話すと、怪訝な顔をされるか、驚く顔をされる。そのあとで決まって、「危なくないですか?」という言葉か、「行けるのですか?」という言葉が返ってくる。無理もない、政府は没交渉だし、メディアは無関心だから。仮に「危ない」存在であるなら、それゆえ偏見なく知る必要があるのではないか。そんな講義になるだろう。	5月17日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
10	岡本 寛	立憲政体と議院内閣制—統治システムから診る日本憲法 議院内閣制は、統治システムを民主化する過程で成立してきた点に特徴があり、比較的新しい形の立憲政体です。他方、議院内閣制の安定的運用は思いのほか難しく、日本のみならず、諸外国においても成功と挫折を繰り返してきました。この講座では議院内閣制の特徴を日本憲政史に即して考えてみたいと思います。	5月31日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」

No.	講師	講座名	時間	場所
11	松尾 哲也	政治哲学と生活世界 政治哲学は、政治的事象を哲学的に考察します。その政治哲学は、私たちが生活しているこの生活世界に対して、どのような役割を担っているのでしょうか。この講座では、古代ギリシャから現代に至る政治哲学を取り上げ、政治哲学が生活世界に対して果たすべき役割について、初歩から分かりやすくお話しします。	6月14日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
12	久保田典男	「中小企業のマネジメント面の診断 ～フレッシュマン・フィールド・セミナーの取組から～」 企業が着実な事業展開を図っていくためには、組織や人材といったマネジメント面を強化することが求められます。本講座では島根県を代表する企業を実際に分析した大学1年生向け必修科目「フレッシュマン・フィールド・セミナー」で実施した内容を紹介しつつ、企業のマネジメント面を分析する方法を紹介いたします。	6月28日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
13	村井 洋 (島根県立大学名誉教授)	あの人と和解する・あの国と和解する 「人生は闘いだ」と息んで立ち上がったとしても、その代償の大きさに驚き、省みて妥協と和解を思うことがあります。紛争と和解に伴う困難とは何か、どうしたら和解できるのか。民事から人事、歴史問題と国際関係に至るまで、そしてその根底にあるだろう自分自身との闘いに及ぶ「和解の政治学・人間学」を試みます。	7月5日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
14	ケイン・エレナ・アン	イギリスの児童文学:ロアル・ダールの人生と作品 本講座は簡単な英語で行います。イギリスの有名な児童文学作家を紹介し、よく知られているシーンを一緒に読んで、映像や写真などを使用しながら理解を深めましょう。『チャーリーとチョコレート工場』を書いたロアル・ダールを紹介します。英和辞書を持ってきてください。高校1年生ぐらいの英語力で楽しめます。必要に応じて、日本語も付け加えます。	7月12日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
15	瓜生 忠久	マス・コミ報道とSNSに観る「反・知性」主義への対応 ～無関心層拡大傾向への懸念～ 「反・知性」主義の傾向が顕著である。本来「個人の自由な意志表現の場」として有意義なメディア＝SNSの機能を逆手に取った「暴言・虚言」が蔓延し、このような風潮をチェックする役割を担う筈のマス・コミ、ジャーナリズム界は弱体化している。昨今の「情報化社会」をどう捉え何を判断材料とすべきか。戦後培ってきた日本人の「知と理」という価値を基に考えてみたい。	7月19日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
16	松尾 哲也	公共哲学とは何か? 「公共哲学」とは、「公共性」という観点から、政治・経済・教育・科学技術・自然環境等の諸問題について、総合的に取り組む学問です。この講座では、「公共性とは何か」という根本的な問題について考え、そこから、公共性を担い、豊かな公共性の領域を築くために求められることをお話します。	9月27日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
17	張 忠任	中国人の姓とその由来 本講座は、中国人の姓について歴史的に検討し、中国総人口の3分の1を占める十大姓(王、李、張、劉、陳、楊、黄、趙、周、吳)の由来と分布を中心に語り、そして歐陽、太史、端木、上官、司馬などの二字姓、西野建、東関正、南宮万などの三字姓、愛新覺羅のような四字姓についても紹介します。	10月4日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
18	木村 秀史	ゼロからわかる資産運用入門 シーズン2 この講座では、資産運用について基礎の基礎から学んでいきます。上手に資産を運用するにはどうすれば良いのか?皆さんの資産を賢く守る術をお教えします。シーズン2となる今回は、使わなければもったいない「個人型確定拠出年金」の制度概要やメリットについても説明します。この制度を上手く使えば老後の備えも安心です!	10月11日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
19	藤原 眞砂	時間でみる人の一生 結婚、子育て、働きざかりの世代の労働、老後生活、老老介護など、人の一生をいくつかのイベントを中心にして生活時間がどのように変化していくかをはなします。そして人生を考えます。	10月25日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
20	西藤 真一	だまされないための経済学 上司は「仕事で部下がサボらないようにしっかり管理してやろう」と思うかもしれませんが、それはそんなに簡単ではありません。また、物事の採決はたいいて多数決を用います。しかし、それは投票者の真の意見とは違うかもしれません。今宵は簡単な経済学の考え方から、世の中で「当たり前」と思われていることを斜に構えて考えてみたいと思います。	11月15日水 17:45～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
21	松田 善臣	だまされないための統計学 私たちの周りには統計データがあふれています。人口や高齢化率、内閣や政党の支持率といったものから、平均所得、視聴率……。こうした統計データから私たちは社会の現状を把握し、進むべき方向を判断します。ただ、一見客観的なデータも読み方を間違えると……。統計データを読むときの「基本」を一緒に学びましょう。	11月22日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
22	八田 典子	文化的地域資源を活かした個性豊かな「まちづくり」—「芸術」と「景観」の魅力に注目して— 文化的地域資源は、人の心をひきつける個性豊かな「まちづくり」の要となるものです。この講座では、国内外の事例を挙げて、「芸術」と「景観」を活かした「まち」や「地域」に注目し、その魅力について考えます。特に、小布施町(長野県)の取り組みに着目します。	11月29日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
23	井上 治	山陰海岸は、13世紀に日本を襲ってきた「元寇」と深い繋がりを持つ地域です。今回3名によるリレー式講座で、石見神楽「風宮(かぜのみや)」の紹介や、歴史書に残された元寇、そして対馬と元寇の関係など、いろいろな角度から元寇を掘り下げてみたいと思います。	11月29日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
24	井上 厚史	「元寇」を探求する(全3回) ・第1回「元寇と山陰」(井上治) ・第2回「歴史書に記された元寇」(井上厚史)	12月6日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
25	石田 徹	・第3回「対馬宗家文庫史料に見る元寇」(石田徹)の予定です。	12月13日水 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」